

科目分類	専門分野	学 年	2 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	成人看護援助論Ⅳ (健康の危機的状態に ある患者への看護)	学 期	前 期	竹下 啓太 (看護師) 山崎 友美 (看護師) 大賀 嘉奈子 (看護師)
		単 位 数	1	
		時 間 数	30	
目的 (ねらい)	健康危機状況では、さらに生涯が生じると生命の危機となり、その状態を脱したとしても心理的にも社会的にもさまざまな問題を引き起こす。患者や家族への注意深い観察とアセスメントを行い、個々の身体的・心理的・社会的状況に見合った援助方法を学習する。			
目 標	1. 健康危機状態にある患者の疾患の病態と検査・治療について理解する。 2. 健康状態にある成人には、①苦痛、②身体機能悪化の恐れ、③生活行動変更への対応困難、④心理・精神的混乱、⑤家族や重要他者の不安に関するセルフケア不足が生じることを理解する。 3. 健康機器状況にある対象及び家族のセルフケア不足に対する看護の方法を理解する。			
授 業 計 画	担当教員：竹下 啓太			
	1. 周手術期の健康危機状況にある患者の看護 (胃がん)			
	回数	単元項目	内容	授業形態
	1	胃がんの病態生理、 検査と看護	病態生理、 検査 (胃カメラ、胃透視)	講義
	2	治療と看護 術前看護	治療 (内視鏡的、開腹術、腹腔鏡下) 術前検査、術前オリエンテーション	講義 講義
	3	術後合併症	術後合併症と生じやすい時期	講義
	4	術後看護	術直後～退院までの看護、パンフレット作成	講義
	5.	食事指導/ドレーン 管理	パンフレットを用いての食事指導 ドレーン管理の実際	演習 演習
	担当教員：山崎 友美			
	2. 循環不全による健康危機状況にある患者の看護 (心筋梗塞・心不全)			
	回数	単元項目	内容	授業形態
	1	心不全と看護	病態・症状、検査、治療、看護	講義
	2	心筋梗塞と看護	病態・症状、検査、治療、看護、心臓リハビリテーショ ン、胸痛	講義
	3	不整脈	モニター波形、治療、看護	講義
	4	心臓カテーテル	心臓カテーテルを受ける患者の看護	講義
	5	ペースメーカー	ペースメーカー装着中の患者の看護	講義
	担当教員：大賀嘉奈子			
	3. 呼吸不全による健康危機状況にある患者の看護 (人工呼吸器装着)			
回数	単元項目	内容	授業形態	
1	呼吸不全の病態・生 理とその看護	病態・生理の復習 呼吸器を作る (工作) 症状に対する患者の看護 主要症状：呼吸不全、胸痛、気管支喘息	講義	
2	検査を受ける患者の 看護	気管支鏡検査、胸腔鏡、動脈血液ガス分析、 パルスオキシメーター	講義	
3	治療を受ける患者の 看護 1	呼吸理学療法	講義	
4	2	血ガス代償を視覚化する演習 胸腔ドレナージ、胸腔穿刺、酸素療法	講義	
5	3	吸引の適応と方法、吸入療法 喘息・COPD患者体験 気道管理 挿管・気管カニューレ挿入中の 患者の看護	講義	
		人工呼吸器管理 NPPV PEEPを体験する演習	演習	

教科書	1. 系統看護学講座専門 成人看護学[5] 消化器 医学書院 2. 系統看護学講座専門 成人看護学[3] 循環器 医学書院 3. 系統看護学講座専門 成人看護学[2] 呼吸器 医学書院
参考文献	「疾患別看護過程＋病態関連図」井上智子／佐藤千史編集 医学書院 その他、授業において、その都度紹介する。
評価方法	定期テスト 100%。 1. 周手術期 2. 循環器 3. 呼吸器 それぞれ 100 点満点のテストを行い、3 つのテストの平均点を最終評価とする。
関連科目	基礎分野：心理学、社会学、教育学、カウンセリング理論と技法 専門基礎分野：解剖生理学、栄養学、病理学、薬理学 専門分野：基礎看護学、地域・在宅看護論、老年看護学、精神看護学
自己学習に関する指針	解剖生理学・病理学・成人看護学概論で学んだ知識を踏まえて授業を展開する。
その他の通知事項	随時質問に応じる。